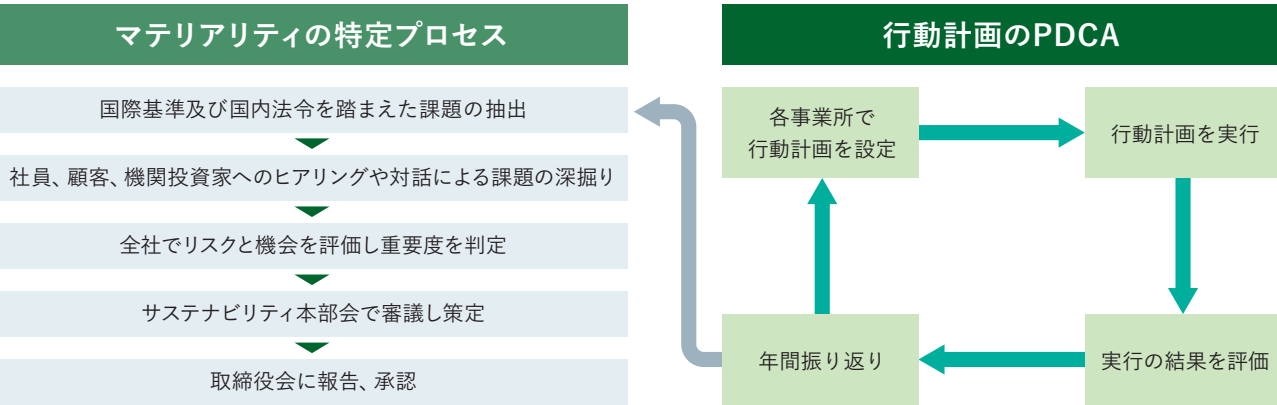


マテリアリティ

ダイセキでは、環境保全と環境創造に貢献するビジネスモデルを構築し、社会を支えながら持続的に成長していくために、5つのマテリアリティ※1を特定して取り組みを推進しています。中長期的な企業価値のより一層の向上のため、各マテリアリティに関する具体的なKPI※2の策定も進めています。外部環境やステークホルダーからの要請の変化等を踏まえて継続的に見直しを行っています。

特定プロセス

ダイセキでは幅広く課題を抽出し、社内外のヒアリングや対話を重ねて課題の深掘りを行っています。TCFDシナリオ分析やISO14001に基づくリスクと機会の分析結果も考慮し、サステナビリティ本部会で策定後、取締役会の承認を得てマテリアリティを決定しています。



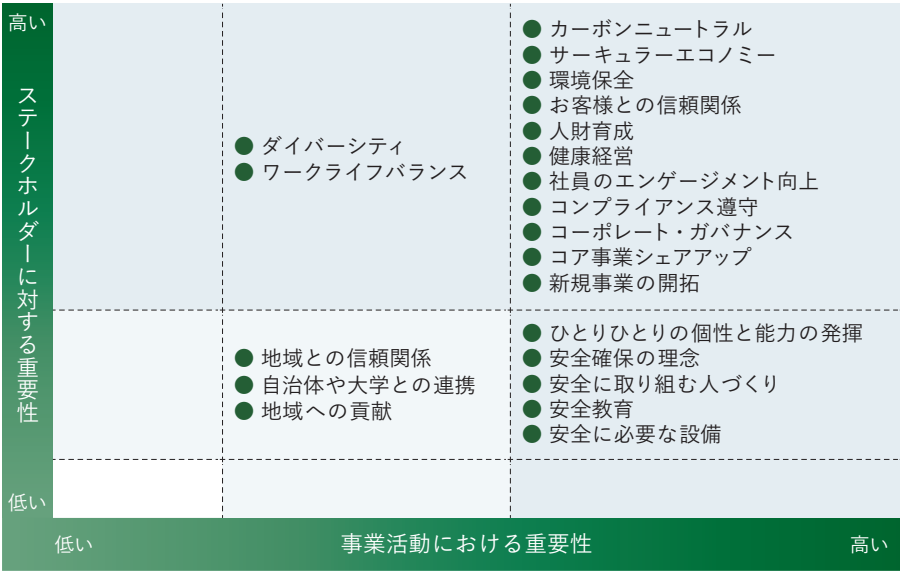
ダイセキのマテリアリティ

ダイセキでは、パーパスや経営理念に基づく各種指針・方針をベースに、5つのマテリアリティを特定しています。各マテリアリティにはそれぞれ重要項目を定め、行動計画を設定しPDCAを実践しています。また、中長期的な達成度を測るためのKPI・目標の策定も進めています。

マテリアリティ	マテリアリティの達成に向けた取り組み	目標	実績
 限られた資源を活かして使う	▶ 産業廃棄物の適切なリサイクルによる環境保全とカーボンニュートラルへの貢献 ▶ P.15 特集 ダイセキが挑む新たなビジネスモデル ▶  カーボンニュートラル ▶  環境経営の体制	▶ 2027年度までに排出削減貢献量を78.5万t-CO ₂ 以上に増大	▶ 2024年度は64.3万t-CO ₂ を削減 ▶ 2025年5月に環境方針を制定（ダイセキ単体としては改定）
 ひとりひとりの個性が輝く職場づくり	▶ サークュラーエコノミー社会実現を目指し、製造業を中心とした顧客の資源循環を支援 ▶  サークュラーエコノミー ▶  環境経営の体制	▶ 2030年度までにマテリアルリサイクル出荷量を258,300t以上に増大	▶ 2024年度は149,000tを出荷 ▶ 2025年5月に環境方針を制定（ダイセキ単体としては改定）
 労災事故と環境事故の撲滅	▶ 成長を支える経営の基盤である社員とその家族の心身の健康を維持向上 ▶  健康経営 ▶  人権保護	▶ 社員の心身の健康状態の維持向上	▶ 2025年5月に人権方針を制定、社員の家族の健康診断費用の補助
 地域社会から愛される企業	▶ 事業戦略に基づき成長するために必要な人財戦略の推進 ▶ P.37 人的資本 ▶  人財育成	▶ 人事制度の改定と人財戦略の策定	▶ 2025年4月に人事制度の改定に着手
 労災事故と環境事故の撲滅	▶ 安全を全てに優先させる理念の浸透 ▶  安全	▶ ダイセキで2030年度までに安全衛生管理規程を見直し、安全理念を浸透させ責任を明確化	▶ 2025年5月に安全衛生方針を制定（ダイセキ単体としては改定） ▶ 2024年4月にダイセキで災害・事故発生時における報告基準を制定
 地域社会から愛される企業	▶ 安全確保に必要な教育の実施と設備の配置 ▶  安全	▶ ダイセキ社員による休業災害発生件数ゼロ	▶ 2024年度は2件
 地域社会から愛される企業	▶ 地域の環境保全への貢献 ▶  地域社会	▶ 事業所周辺の清掃活動、及び地域の自治体や住民と連携した環境美化活動	▶ 2024年度は1,164名が清掃活動や環境美化活動に参加
 地域社会から愛される企業	▶ 災害復旧支援による社会インフラの維持 ▶  ダイセキの実績	▶ 顧客の工場が自然災害や事故で被災した場合、速やかに復旧支援を実施	▶ 2024年1月に能登半島地震で被災された石川県、富山県の罹災企業の復旧を支援
 強固なコンプライアンス・法令遵守の周知・徹底	▶ ガバナンス体制の強化とコンプライアンス教育の実施 ▶  ガバナンス	▶ グループガバナンス体制の強化	▶ 2025年5月に腐敗防止方針を制定、グループ会社間の監査等委員会による意見交換、グループ会社の社長による監査等委員会への業務説明
 強固なコンプライアンス・法令遵守の周知・徹底	▶ 成長を支えるガバナンスと次世代を見据えたサクセッションプランの推進 ▶ P.49 コーポレート・ガバナンス ▶  ガバナンス	▶ サクセッションプランの策定	▶ 2024年2月に外部講師を招きサクセッションプラン勉強会を実施、2025年4月にサクセッションプランを含む人事制度の改定に着手

重要性評価

マテリアリティの重要性については、「ステークホルダーに対する重要性」と、「事業活動における重要性」の2軸で評価を行っています。サステナビリティの観点と連動を図りながら、中長期的な視点で企業価値向上を促進しています。



※1 マテリアリティ：企業が事業活動を行う上で、特に重要だと考えている課題や、優先的に取り組むべき課題のこと
※2 KPI：目標に向けた進捗状況を評価するための指標。Key Performance Indicator(重要業績評価指標)の略